

県民の友

昭和60年
4月号

発行 和歌山県 知事公室 広報企画課 〒640 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111



伸びよ青年、伸びよふるさと

ことしは国際青年年

ことしは国連が定めた「国際青年年」ですが、青年への期待と取り組みは。

国際青年年は、参加・開発・平和の三テーマが基本理念ですね。参加とは、社会の構成員としてどう貢献していくか、そして開発とは、社会参加を通して自己開発と地域開発をどうしていくかということです。

本年は、青年が自己を高め、地域を考える絶好の機会ではないでしょうか。

青年は国の宝、ふるさとの宝です。

二十一世紀の和歌山を考えるとき、青年の行動力は欠かせません。今こそ青年に、ふるさとが何をしてくれるかでなく、ふるさとに何ができるかを考えてほしいと思います。

一月二十七日にオープニングセレモニーが行われましたが、私も这一年を意義深いものにするため、国際青年年推進予算として二千三百万円計上しました。青年の考えを中心として、市町村、関係諸団体とともに盛り上げていきたいと考えています。

「始めよう今、見つめよう未来」のスローガンのように、常に未来を見つめ、ふるさと和歌山活性化のために行動を起こしてくれることを熱望します。

知事に聞く



和歌山県知事・仮谷志良

引き下げなど、依然として厳しい運営となりました。そのため、既存事業の見直しや職員定数の削減、そしてできる限りの創意工夫をこらし、新規事業の開発に努めたところです。二十一世紀に躍進する「和歌山の時代」を目指す第三期活力開発基本方針である県民福祉向上のための県勢活性化に

停滞は許されませんからね。

活力企業立地を含めて産業振興や生活基盤の整備が重要です。とりわけ交通網の整備は、全ての基礎となるだけに最重要課題としました。また、商工業、農林水産編成にあたっては、県内外の経済情勢を反映して、県税等の增收が見込めるなどの好材料があった

同和対策事業と

健康・福祉和歌山

健康の確保

- へき地対策(巡回診療、へき地診療所運営費補助等)…1億3,000万円
- 県民総合健診センター(仮称)設置…900万円
- 周産期医療特別対策(新生児集中強化治療施設を新宮市民病院に設置)…1,730万円
- B型肝炎母子感染防止対策…720万円
- 神経芽細胞腫検査(小児ガン)…450万円
- 医療機器整備(県立医科大学に導入)…4億6,330万円

県民誰もが健康で心豊かな安心できる和歌山県をつくります。

福祉の充実と安全なくらしの確保

- 県単独老人医療費助成(67歳~69歳)…7億1,630万円
- 老人医療費助成(70歳以上、または65歳以上寝たきり老人)…18億600万円
- 要援護老人生活補助用具給付…2,060万円
- 福祉ボランティアの町づくり…400万円
- ヘリコプター導入(白浜空港内に基地設置)…1億7,930万円

同和対策の推進

- 同和高度化資金…7億3,990万円
- 同和地区環境整備…26億5,520万円
- 住宅新築資金等貸付助成…1億2,720万円

教育・文化和歌山

健全な青少年の育成と婦人の社会参加

- 高校生集団宿泊指導…550万円
- 十代の非行を考えるシンポジウム…90万円
- 国際青年年推進…2,230万円
- 婦人の社会参加促進(各地に婦人問題アドバイザーを設置し、婦人の社会参加を促進)…190万円

学校教育の充実

- 和歌山西高校整備…8億1,320万円
- 新設養護学校整備(障害児教育の充実のため伊都地方に養護学校を新設)…8億9,320万円
- 私立学校振興助成…13億4,130万円

芸術・文化・スポーツの振興と国際交流の促進

- 県民文化会館、近代美術館、博物館開館15周年記念事業…1,670万円
- 地域文化創出モデル…1,000万円
- 秋葉山県営プール整備…2,800万円
- 日中友好スポーツ大会…190万円

県民の友

- 昭和六十年度予算の編成にあつての留意点と重点施策は、変動の激しい時代に即応した、活力に満ちた郷土づくり型予算としました。

活力企業立地を含めて産業振興や生活基盤の整備が重要です。とりわけ交通網の整備は、全ての基礎となるだけに最重要課題としました。また、商工業、農林水産編成にあたっては、県内外の経済情勢を反映して、県税等の增收が見込めるなどの好材料があった

健康・福祉県民の健康は、非

教 育・文化現代社会の深刻な問題である少年非行、いじめなどを対応、そして障害児教育として伊都地方へ養護学校を新設します。またうるおいと生きがいを与える地域文化の創出にも努めています。また、商工業、農林水産編成にあたっては、県内外の経済情勢を反映して、県税等の增收が見込めるなどの好材料があった

●この一年特に力を入れることは、ふるさと運動です。本県の豊かな自然や歴史的資産は、今後日本によってはなりません。県民総参加の運動をお願いしたいと思います。

市町村が、同和対策事業を実施する場合には、原則として国庫補助金と地方債がその財源となります。このうち、地方債は市町村の借金であり、後年度に返済しなければなりませんが、この元利償還金については、地域改善対策特別措置法第五条に基づき、その八割が普通交付税として還元されます。

つまり、国庫補助三分の二の残りの三分の一について、法第四条の規定による地方債により財源確保が講じられ、その五分の四が普通交付税で交付されることがあります。

したがって、市町村の最終の負担割合は、 $\frac{1}{3} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{9}$ で、約六・七%となります。

例えば、総事業費九百万円の事業を実施すれば、市町村の最終負担額は(九百万円) $\times \frac{1}{9} = 100$ 万円となります。

さらに、国庫補助事業の公営住宅建設や市町村が単独で行う事業など普通交付税で財源措置されないものについても、特別交付税により市町村の財政負担の軽減が図られています。

なお、昭和五十九年度においても同和対策事業にかかる特別交付税として約二十四億四千七百万円措置されています。

昭和60年度予算の概要

ふるさとの限りない発展のために

- 県政の基本目標 「活力和歌山」
 「健康・福祉和歌山」
 「教育・文化と和歌山」

○ 昭和60年度予算

一般会計	321,986,000千円	(対前年度 3.8%増)
特別会計	63,002,000千円	(// 3.6%増)
企業会計	17,305,000千円	(// 90.5%増)
予算総額	402,293,000千円	(// 5.8%増)

県政の基本目標を達成するために実施される事業のうち、新規事業を中心に主なものを紹介します。

(◎印は新規事業です。金額は10万円未満を切り捨てています)

活力和歌山

生活産業基盤の整備と産業の振興
を図って和歌山県に活力をつけています。

農業の振興

○味一果実周年供給基地整備	2億5,310万円
○果樹栽培合理化資金造成（オレンジ・果汁等輸入枠拡大に伴う産地の対応力強化のため果樹農家に対して無利子で資金を貸し付ける）	2億5,500万円（貸付枠2億5,000万円）
○生物工学的手法による優良品種の育種	730万円
○暖地園芸総合指導センター設置	1億3,000万円

林業の振興

○林道の整備	24億1,490万円
○県産材主産地形成対策（県産材の安定供給と販路拡大の体制整備を総合的に実施）	2億2,340万円

漁業の振興

○赤潮対策（赤潮予察実用化技術開発、養殖漁場環境保全技術開発、特別放流補助）	860万円
○魚類防疫指導総合センター設置	2,600万円

商工業の振興

○中小企業融資制度充実（融資枠480億6,180万円）	109億4,800万円
○産業おこしフェア補助（地域産業おこしのためのフェア開催やふるさと産品愛用運動）	400万円
○先端技術指導施設整備（高度技術化に対応するため、工業試験場に研究開発用ロボット、パソコン導入）	3,000万円
○伝統産業会館建設補助	4,260万円

企業立地と県土の保全

○県土地開発公社運営資金貸付（企業誘致用地取得造成）	33億円
○企業誘致情報活動（企業の立地意向調査や情報収集）	180万円
○椿山ダム建設を中心とする日高川総合開発	104億5,940万円

○第4次長期総合計画策定	2,440万円
○21世紀和歌山創生調査（21世紀和歌山の創生に必要なバイオテクノロジー・国際化・高齢化・海洋資源等の調査研究）	2,300万円

観光の開発

○大型観光イベント開催	600万円
○外国人自然体験交流	100万円

雇用の促進と労働者の福祉充実

○勤労者生涯教育セミナー	130万円
--------------	-------

関西国際空港対策

○関西国際空港株式会社出資金	6,400万円
○加太地域整備計画調査	2,690万円

交通通信網の整備

○和歌山バイパス用地先行取得	15億2,500万円
○道路整備	224億1,050万円
○空港基本計画調査（南紀新空港建設のための調査）	2億5,000万円
○港湾の整備	43億8,830万円
○港湾海岸環境整備（加太港人工海水浴場）	3,000万円
○県政文字放送広報（株近畿文字放送設立の出資金）	100万円

農山漁村の整備

○地域農業整備促進（農地等の有効利用の促進や地域農業の担い手の育成等によりむらづくり活動推進や地域農業集団の育成を図る）	5,790万円
○漁港事業	37億1,560万円
○農村婦人の家設置（吉備町、印南町）	2,600万円
○活力ある山村づくり推進（ふるさと産品の产地化推進や人づくり、定住環境整備等）	2億4,070万円
○山村地域資源高度活用促進モデル（地域資源を高度に活用し、産業の活性化等を図る）	2,970万円

ふるさとの発展のために、各市町村をはじめ県民のみなさんと一緒にして、和歌山を愛し、和歌山を見直し、和歌山を誇りに思う運動をすすめるものです。

○ふるさと運動の推進

●人と文化の輪づくり

●市町村振興補助

●木の文化推進（「木の国」にふさわしい「木」のふるさと運動を開催）

●ファミリーグループホーム（養護施設と里親制度の中間的形態のホームを作り、養護に欠ける児童の処遇向上を図る）

●産業おこし

●村おこし事業物産展

●ふるさとふれあいフェア開催

●地域小規模事業活性化推進（村おこし）

●環境づくり

●ふるさと景観建築文化賞

●都市緑化キャンペーン

目で見る県予算(一般会計)歳入・歳出

本県の昭和60年度一般会計予算総額は、3,219億8,600

万円で前年度当初と比較して3.8%の伸びとなっています。

ちなみに国の一般会計予算の伸びは3.7%です。

前年度に比べ積極型予算となり、新規事業を大幅に入り入れたり、重点的経費配分に努めたりしながら、活力にみちたふるさとづくりを目指しています。

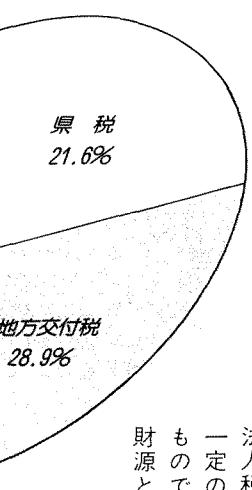
なかでも県勢活性化のための基盤づくりである公共事業は、国の一般公共事業が1.7%減額(対前年度)されたにもかかわらず、事業獲得に最大限の努力を払うこととし県では3.1%の増としています。そして県民生活に直結した単独事業についても、地方財政計画の伸び(1.7%)を大きく上まわる12.2%の伸びとしています。

県税 県民税や事業税などわたくしの納めている地方税です。本年度は、県内産業をはじめとした経済情勢の好転、電力供給

関連企業等の事業量拡大による法人税、酒税)から各自治体に一定の方式で算定、交付されるもので、県税と同じように一般財源となります。

地方交付税 国税3税(所得税、法人税、酒税)から各自治体に一定の方式で算定、交付されるもので、県税と同じように一般財源となります。

国庫支出金 国から交付される負担金や補助金、交付金などをいいます。本年度は、国からの補助金等が削減されたために減少しています。



歳入	昭和60年度 予算額	昭和59年度 当初予算額
	百万円	百万円
県税	69,500	61,500
地方交付税	93,000	81,000
国庫支出金	83,076	86,001
諸収入	29,843	29,209
県債	18,919	22,674
地方譲与税	2,343	2,446
交通安全対策特別交付金	474	470
その他分担金及び負担金	4,739	4,473
使用料及び手数料	5,866	5,492
他財産収入	3,321	3,771
寄附金	5	12
繰入金	10,900	13,287
歳入合計	321,986	310,335

それだけに計画的な運営が必要です。

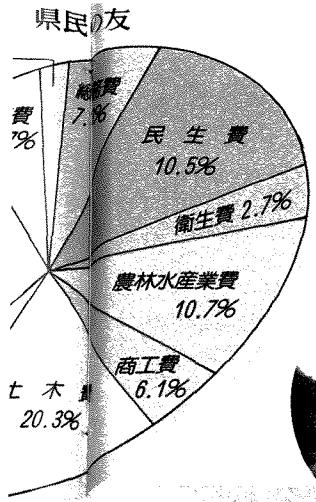
総務費 予算や長期計画などの実施、消防、文化振興などのため使われる経費です。

民生費 県民のみなさんの一定水準の生活を確保し、社会福祉など安定した社会生活を保障するため使われる経費です。

衛生費 県民のみなさんの健康で文化的な生活水準を保障し、衛生的な生活環境を保つための経費です。

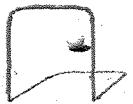
一般有料海南湯浅道路建設進む椿山ダム

土木費 県内の河川や道路、港湾の整備そしてダム建設や都市計画、住宅建設など暮らしに直接した経費です。

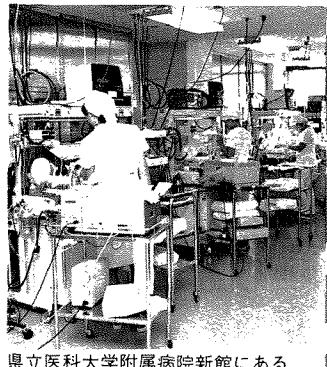


昭和60年度

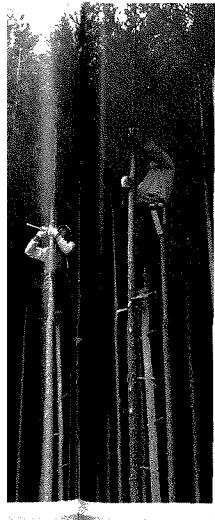
県防災総合訓練



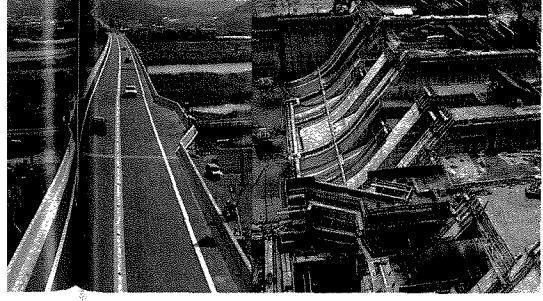
衛生費 県民のみなさんの健康で文化的な生活水準を保障し、衛生的な生活環境を保つための経費です。



県立医科大学附属病院新館にある新生児集中強化治療室



一般有料海南湯浅道路建設進む椿山ダム



広がる文化交流の輪

去年の4月18日に県庁で和歌山県と山東省の友好提携が結ばれて、今月でちょうど一年になります。この間、相互の公式往来が活発に行われ、本県から中国へ旅行する人も増えました。去年のバスボート取得件数1万7,447件のうち中国渡航用は1,213件で、前年の683件に比べ530件(78%)増え、国別順位も6位から4位になりました。

12月には和歌山下津港と青島港との友好港提携が調印され、経済交流がさらに進むことが期待されています。

今年も本県の農林業、医学、商業、県・市町村の団体が山東省を訪問する予定です。山東省からはプラスチック、医学、労働者、省、下水道などの団体が来ることになっています。

また、山東省雑技団サーカスと中学生のサッカーチームが県下で公演や試合を行うほか、年末には魯西黄牛(ろせいこうぎゅう)がプレゼントされる予定です。こ

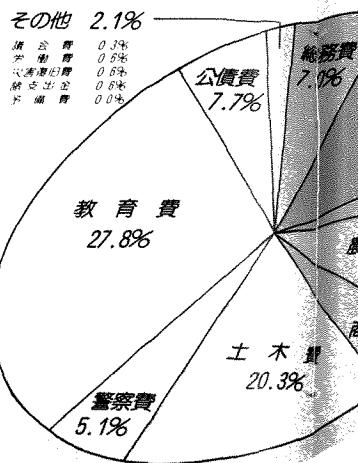
日本でいうサーカスに近いものですが、動物は登場せず、ひたすら人間の体力と技術の限界に挑戦します。団員は、たくましい男性、美しい女性、可愛い子ども、合計26人。次の日程で公演します。

◆4月19日 御坊市民会館 ◆20日 橋本市民会館 ◆21日 紀南文化会館 ◆23日 新宮市民会館 ◆25日 アドベンチャーワールド

この3つの交流についてご紹介しましょう。

山 東 省 雜 技 团

広がる文化交流の輪

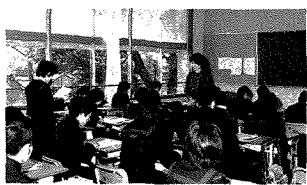


歳出	昭和60年度 予算額	昭和59年度 当初予算額
総務費	百万円	百万円
生産業費	22,696	23,879
農業費	33,717	32,814
水産業費	8,717	8,885
工業費	34,508	34,183
商業費	19,601	17,654
土木費	65,232	59,129
警察費	16,311	15,474
外債償還	89,423	86,803
その他	24,760	22,894
講習会費	953	949
災害復旧費	2,022	2,282
支払金	1,859	3,223
出資	2,087	2,066
備蓄費	100	100
歳出合計	321,986	310,335

農林水産業費 農業や林業、水産業、畜産業などの振興を図るために使われる経費です。
商工費 商業や工業、観光などの振興に使われる経費です。



警察費 わたしたちの暮らしの治安を守る警察関係に要する経費です。
教育費 学校・社会教育、保健体育、教育振興など明日の人づくりのために使われる経費です。
公債費 住みよい郷土づくりのための事業の資金として国等から借り入れたお金の返済するための経費です。



ふるさとを見よう、知ろう話しあう

「県政バス教室」参加者を募集します



Aコース 5月17日(金) 50人
コース 県民文化会館前(発)・海南湯浅道路・椿山ダム建設工事現場・中津村郷土文化保存伝習館・養鶏試験場・県民文化会館前(着)
費用 300円(保険料、通行料)

Bコース 5月23日(木) 50人
コース 県民文化会館前(発)・海南湯浅道路・由良あかつき園・アメリカ村資料館・三井造船所・水産物流通加工センター・県民文化会館前(着)
費用 400円(保険料、通行料、見学料)

Cコース 5月23日(木) 50人
コース 西牟婁県事務所前(発)・椿山ダム建設工事現場・中津村郷土文化保存伝習館・養鶏試験場・道成寺・西牟婁県事務所前(着)
費用 400円(保険料、見学料)

※昼食は各自持参してください

申込方法、ハガキに希望コース、参加者(1枚3人まで)の氏名、年齢、および連絡先(代表者の住所、電話番号)を記入のうえ、4月25日(消印有効)までにA、Bコースは〒640 和歌山市小松原通1-1 県庁広報公聴課 Cコースは〒646 田辺市朝日ヶ丘23-1 西牟婁県事務所総務課へ。

※定員を超えた場合は抽選にします。くわしくは申込先へ。



有田川クリーン 作戦に千六百人

2月23日、恒例の有田川クリーン作戦が行われました。この日、小中高校生や地元の人およそ千六百人が集まり、有田川を中心とした岸の堤防の草刈り、空き缶などのゴミ拾いを三時間かけて行い、二トントラック六台分のビンやカンなどを収集。川は見違えるほどきれいになりました。

〔吉備町〕

古式ゆかしく「御田の舞」
伊都郡花園村に平安中期より伝わる「御田の舞」が、2月24日（本来は旧1月8日）、同村で開催されました。先祖をうやまい一年の豊作を祈願する民俗芸能で、田打ちから収穫までの稻の一生を模擬的に演じるもので、昭和56年に国の指定を受けた、重要無形文化財です。



薬草を食べる会

薬草を楽しく食べ、健康の増進を図ろうと川辺町にある国立薬草試験場と印南町の薬草栽培研究会が中心となって「薬草を食べる会」が発足しました。

第1回の試食会には若い主婦からお年寄りまで約70人が参加、アマチャヅル、トウキ、ゲンノショウコ、セリなどを天ぷらやおひたし、油いためなどにして、旬の味をたのみました。

第2回は今月の21日に印南町中央公民館で行う予定です。

〔日高地方〕



あ と が き

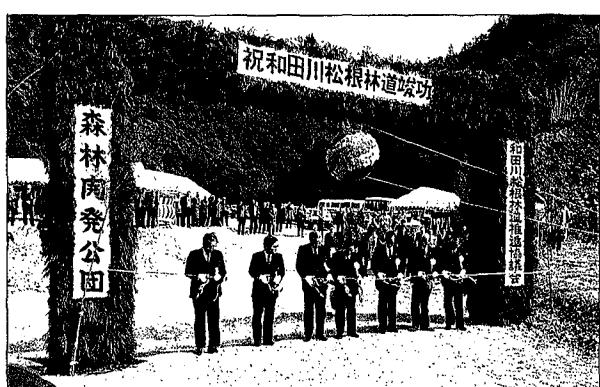
春は始動、活動の季節です。

暖かい日差しを浴びて、野や山が一斉に萌え出しました。街角や電車の中でも、赤いネクタイに紺の背広のピカピカ社会人一年生が目につきます。いかにも初々しい感じ、もののみなひときわめかな季節です。

○四月は県序も新年度のスタート。六十年度の予算を特集しましたのでご精読ください。

待望のスバーハー林道が完成
森林開発公団が建設を進めていたスバーハー林道「和田川松根線」（東牟婁郡熊野川町・古座川町間31・24キロ）が10年ぶりに完成。2月24日に仮谷知事ら約300人が出席して開通式が盛大に行われました。

この林道の完成により、森林資源の開発や地域産業の振興が期待されています。



〔熊野川町・古座川町〕

出合いの渕の河童

龍神村大熊

シリーズ7
ふるさとの民話



日高郡龍神村は、村の九五パーセントが森林という山村です。「がたろう渕」——むかし、河童（カッパ）がいたという「出合いの渕」は、奈良県境に近い大熊地区にあります。その河童は、それは手に負えない悪さをしたとか。そこで怒った領主が退治に行きました。「もう決して悪いことはしません。罪滅ぼしに畠仕事を手伝います」といいます。真夏になると頭の皿が乾いてしまい、河童はもうフラフラ。それをみた里人たちは、「龍藏寺に松の木がない」と人々がすっかり忘れたころ、二本のみどりが生えてきました。「河童は約束を守りよつた」と人々が感心しだした矢先、またまた河童のいたずらが復活したということです。